

圃場整備を契機とした地域振興について

～集落営農組織の法人化と、
地域の活性化について～

- ・元芹沼地区圃場整備事業推進委員会
- ・副会長・換地委員長・工事委員長
- ・農事組合法人：日光アグリサービス
- ・代表理事組合長 沼尾一郎

目 次

- 1 地域の概要**
- 2 ほ場整備事業の概要**
- 3 集落営農への取組**
- 4 園芸の振興**
- 5 環境配慮・地域活動**
- 6 日光アグリサービスの基本理念**
- 7 将来構想**

1 地域の概要

日光市の位置

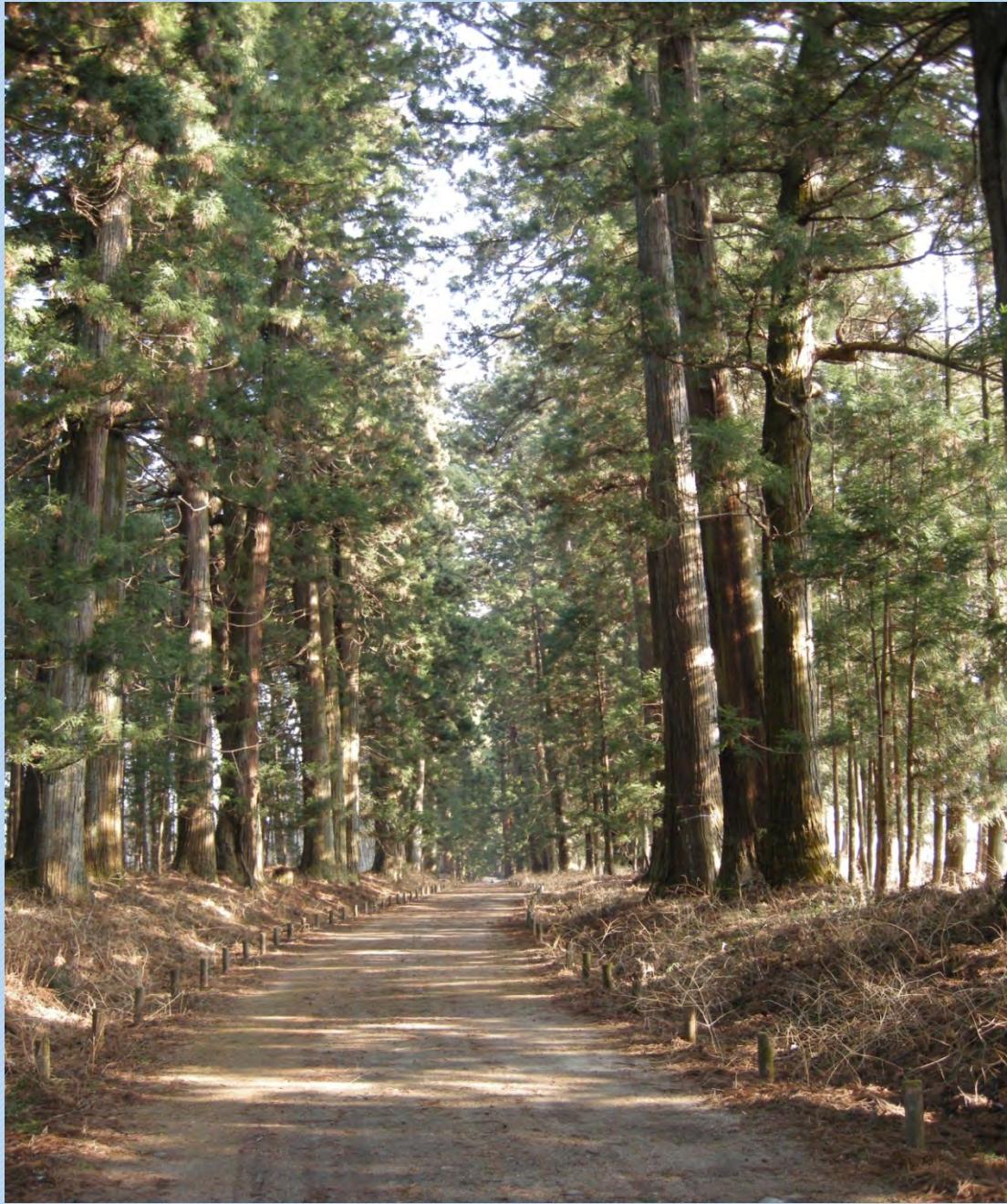
○日光市のは場整備率
平成26年5月現在
35.4% A=1,093ha
参考
栃木県のは場整備率
71.2%



【日光市の概要】

- ①平成18年3月 旧今市市・日光市・藤原町・足尾町・栗山村が合併
- ②総面積 1,449.87km²
(県土の約4分の1)
- ③平均気温 12.6°C
- ④年間日照時間 1,878時間
- ⑤年間降水量 1,619mm
- ⑥年間観光客数 11,251,204人(平成21年)
(宿泊者数 約350万人)
(外国人宿泊者数 約6万人)

日光杉並木

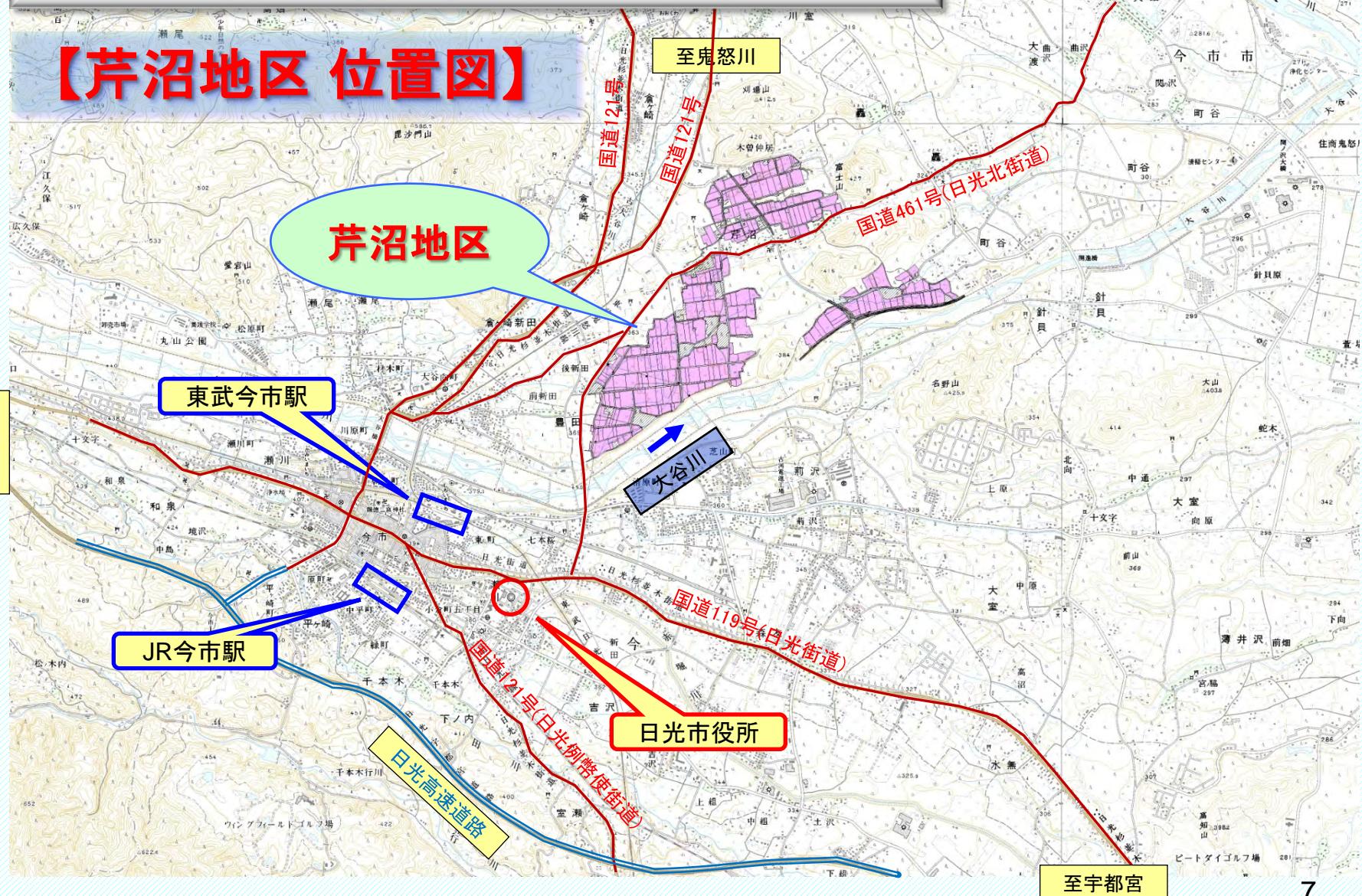


憾満力淵



2 ほ場整備事業の概要

【芹沼地区 位置図】



【ほ場整備事業実施に向けた調査計画】

・地元意向のとりまとめ

★地元推進組織の設立

・基礎調査

(平成7年度)

・計画設計

地形図作成 (H8)

換地等調整事業

(アンケート調査)

・計画樹立、法手続

(平成9年度)

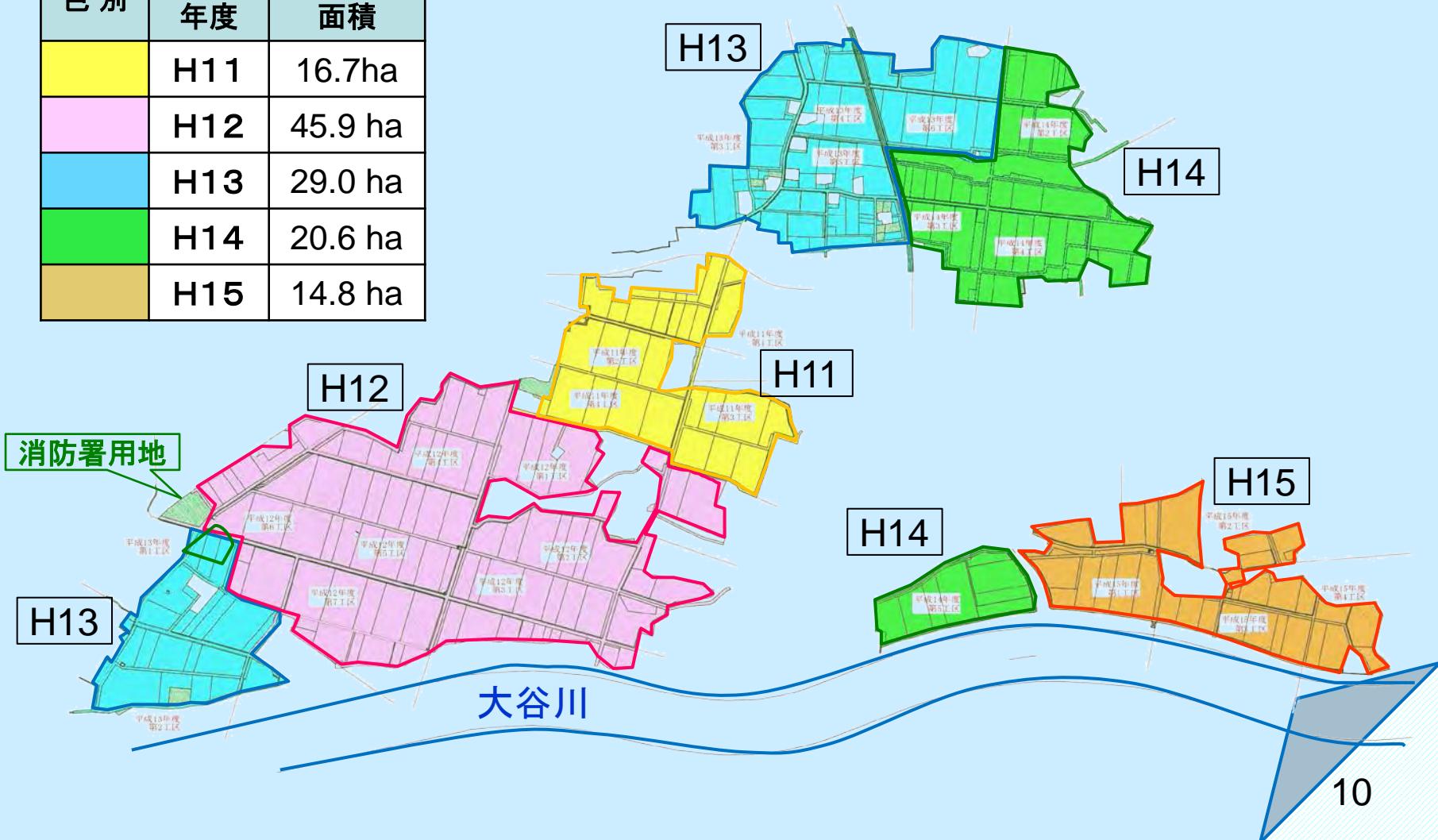


【芹沼地区 ほ場整備事業の実施】

- ・事業名称 県営ほ場整備事業(担い手育成型)
- ・事業年度 平成10年度～平成17年度
- ・総事業費 14億2千万円 (111万円／10a)
- ・受益面積 128.0 ha(地区全体面積 157.4ha)
 - 整備面積 水田 116.7ha、畑 11.3ha
 - 道路延長 15.4 km
 - 用水路延長 17.4 km
 - 排水路延長 12.0 km
 - 地形勾配 約1／100

【年度別施工位置図】

色別	施工年度	施工面積
■	H11	16.7ha
■	H12	45.9 ha
■	H13	29.0 ha
■	H14	20.6 ha
■	H15	14.8 ha



【芹沼地区 換地の概要】

○関係農家	103戸	
○団地	従前地	384団地
	換地	260団地
○1団地当たりの面積	従前地	3380m ²
	換地	4900m ²
○交付率	98.2%	(=減歩率1.8%)
○換地処分	平成18年8月	

【整備前】



【整備後①】



日光アグリサービスの協働作業

【整備後②】



3 集落営農への取組

【地域農業の概要】（平成23年）

① 概要

・農家戸数: 128戸

専業農家 13戸、第1種兼業農家 8戸、
第2種兼業農家 107戸

② 経営規模

・水田利用状況

水田面積 206ha

主な作物 水稻 139 ha、野菜 15 ha、
大豆 15.5 ha、そば 9 ha

・1戸当たり平均水田面積: 1.6 ha



【農地集積のビジョンづくり】

芹沼・豊田・町谷
集落営農推進協議会

支援

JA上都賀
(集落型経営体
特別支援事業)

芹沼地区の明日の農業を考える会

「水田農業ビジョン」の策定

- ・ほ場整備のあり方
- ・集落営農への取組
- ・その他地域振興策の方向性

・若い後継者
・女性
・高齢者 も参加

【担い手への集積計画(ほ場整備)】

①担い手の設定

当初 担い手：4名

変更 生産組織：芹沼地区グリーンファームシステム
(平成13年3月設立)

構成 オペレーター：認定農業者7名

事務局：2名

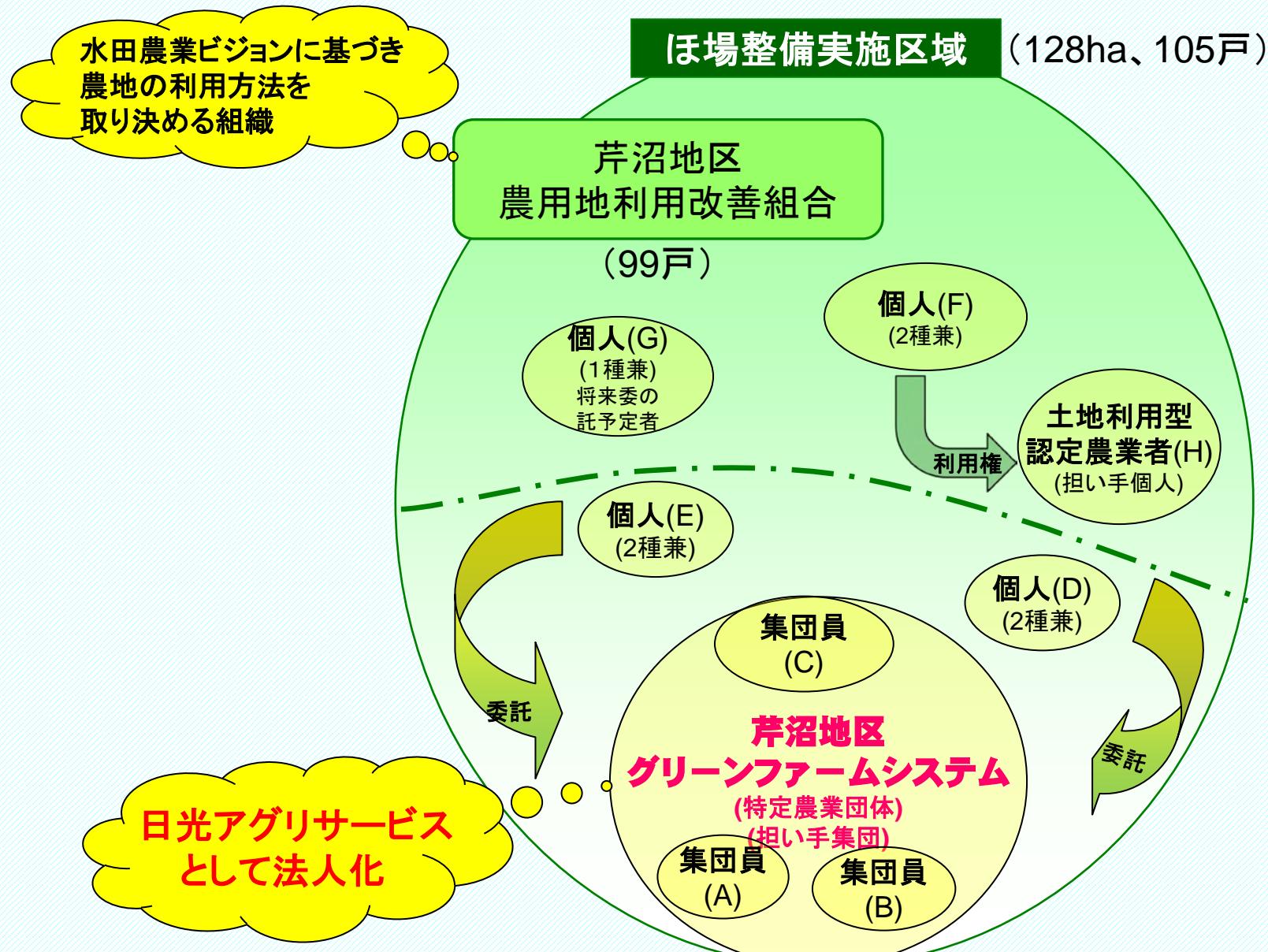
②集積内容

- ・ 担い手による経営面積(実施前) 35.86 ha (A)
- ・ 同 地区内経営面積(実施前) 20.39 ha (B)
- ・ 同 地区内経営面積(実施後) 36.87 ha (C)
- ・ 事業対象地区面積 128.0 ha (D)

$$\text{○増加率} = \frac{C - B}{A} = \frac{36.87 - 20.39}{35.86} = 45.96\%$$

$$\text{○シェア率} = \frac{C}{D} = \frac{36.87}{128.0} = 28.80 \%$$

【芹沼地区農地利用集積システムのしくみ】



《芹沼地区グリーンファームシステムの法人化》

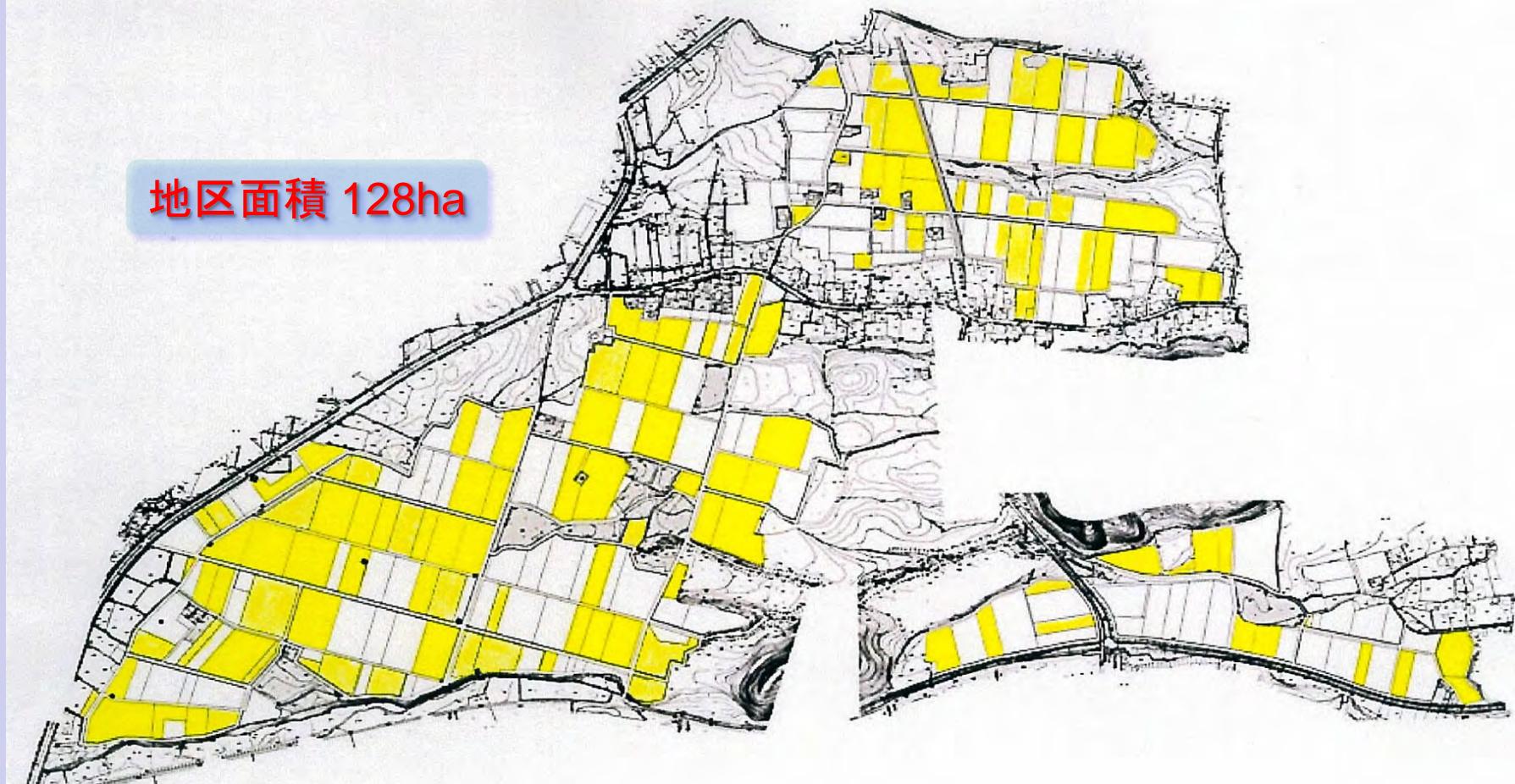
【農事組合法人 日光アグリサービスの概要】

- ◆設立 平成24年1月設立総会(2月登記)
- ◆主な事業エリア 日光市芹沼、豊田、町谷地区
- ◆構成員 17名（理事:4名、監事:3名）
- ◆出資金 1,694,000円(均等割及び面積割)
- ◆主な施設・機械の保有状況
 - ・ライスセンター 400m² ・乾燥機 8台 ・育苗施設 6棟
 - ・コンバイン 4台(6条刈:2台、5条刈:2台) ・田植機 3台(8条植え)
- ◆事業内容 農業の経営、農作業の受託 等
- ◆事業規模及び計画

区分	水稻	大豆	そば	野菜	計(ha)
(H23)設立時	42.0	16.5	9.0	-	67.5
(H29)目標	50.0	17.0	10.0	1.0	78.0
(H25)実績	50.0	18.4	5.6	-	74.0

【農地の集積状況（H25実績）】

地区面積 128ha



年度	主な動き（担い手）	集積面積	集積率
H 9	ほ場整備事業実施前（個人4名）	20.4 ha	15.9 %
H18	事業実施後（特定農業団体「芹沼地区グリーンファームシステム」）	36.9 ha	28.8 %
H23	農事組合法人「日光アグリサービス」設立（同左）	67.5 ha	52.7 %
H25	（現状）	74.0 ha	57.8 %

【営農 トラクター】



【営農 散布機】



【営農 コンバイン】



4 園芸の振興

ほ場整備により

- ・農地の集積
- ・区画形状の改善

アグリサービスに
水田経営を委託

土地利用型農業の合理化



園芸経営への新規取組

- ・水稻からの労力転換
- ・新規就農
- ・ハウスの団地化



【沼尾一郎 観光農園（日光ストロベリーパーク）】



【川村一徳氏 ジョルディカワムラ】

(花の品種開発と生産)



カリブラコアティフィオシー



【長島完治氏 ニラハウス内】



5 環境配慮・地域活動

【農地・水・環境保全向上対策 生きもの調査】



6 日光アグリサービスの基本理念

協同の力で地域農業を守り、
豊かな生活の確立を目指す

◆ 人づくり、
土づくり、
物づくり、
客づくり

◆ 従事分量配当
・組合員の切磋琢磨
・技術力の向上

■ 取組の成果

水稻の収量 : 601 kg/10a(H23)
(コシヒカリ) (県平均 540 kg/10a)

作業時間 : 15 hr/10a
(コシヒカリ) (整備前 39 hr/10a)

いちごの収量 : 7 t/10a
(とちおとめ) (県平均 4.37 t/10a)

7 将来構想

地域的営農管理システム

- ①農地の登録制
- ②土地利用計画策定
 - ・戸別の農地利用調書作成
 - ・集団転作
 - ・機械作業集団化
- ③農地流動化の策定
- ④農作業受委託の促進と基幹3作業の策定
 - ・担い手の役割分担
- ⑤地域における作目別の栽培指針の策定
- ⑥栽培協定の策定
 - ・売れる米作りをメインとした作物の販売戦略、観光農業、減農薬
- ⑦自然環境・景観・風景を大切にした地域づくり

その他 集落内の若奥さんの活躍の場づくり



農村環境は私たちの宝です。

終